

講義名	オ)国際観光事業論		
担当教員	今西 珠美		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			

主題と概要 主題：国際観光に係わる基礎的知識の習得と国際観光事業に従事する企業や組織の経営活動について専門的理解を深めます。 概要：国際観光の動向と史的展開の把握からはじめ、次に観光産業を代表する業種のグローバル戦略、国際観光にたずさわる組織の取り組みについても学習し、観光を通じた国際交流や国際理解について洞察を深めます。

到達目標 世界と日本の国際観光動向、国際観光にたずさわる主要業種の国際経営戦略について理解し、国際観光のあり方について自分の考え方を提示できるようになります。

提出課題 随時、課題を提示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 授業時や解答例を提示する際に講評します。メールで個別に対応することもあります。

評価の基準 学習成果（理解度）を評価します。出欠はとらず、提出された課題レポートの内容や取り組み姿勢を評価します。提出課題（85%）、学習意欲など（15%）を予定しています。

履修にあたっての注意・助言他 授業内容に関連する事柄や事象について調べ、理解を深めてください。オンラインの態度を高めてください。さまざまな媒体から日々情報を入手し、当分野への関心を高めてください。課題にはしっかり取り組んでください。提出回数だけでなく、その内容が重要です。
--

教科書 .なし。					
--------------------	--	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 Go, F. M. and R. Pine, Globalization Strategy in the Hotel Industry, Routledge, 1995. （安室憲一監訳『ホテル産業のグローバル戦略』白桃書房、2002年） 今西珠美『旅行会社の国際経営』共済書房、2001年。 日本交通公社編『旅行年報 2020』日本交通公社、2020年10月。 World Tourism Organization, International Tourism Highlights, 2020 Edition, UNWTO, 2020.

授業計画 1 国際観光とは 2 国際観光の歴史的展開 (1) 観光革命 3 国際観光の歴史的展開 (2) 戦後日本の観光開発史 4 国際観光の歴史的展開 (3) 将来の国際観光 5 旅行会社の国際経営 (1) 旅行業界の概要 6 旅行会社の国際経営 (2) 日本の旅行会社の海外進出 7 旅行会社の国際経営 (3) 旅行会社の海外オペレーション 8 航空会社の国際経営 (1) LCCの経営戦略 9 航空会社の国際経営 (2) FSAの経営戦略 10 ホテルの国際経営 (1) ホテルの所有形態 11 ホテルの国際経営 (2) ホテルのグローバル・チェーン展開 12 デスティネーション・マーケティング 13 観光資源のブランディング (1) 世界遺産 14 観光資源のブランディング (2) 地域ブランディング 15 観光産業のグローバル戦略
--

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 授業の予習と関心の拡大（約120分） 資料を添いで授業に臨んでください。 各トピックスで登場する企業や組織について調べてください。 授業の復習とさらなる内容の理解と関心の拡大（約120分） 授業で提示するキーワードの内容確認を入念に行ってください。 さらに、それらの相互関連性を考えることによりトピックス全体の理解を深めてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 国際観光動向、および主要な観光関連業種や観光団体の国際戦略を学ぶことによって観光事業の仕組みや経営構造を把握、理解する思考力、現状の課題解決や未来に向けた新たな価値を自ら作り出す創造力と提案力が身につく、観光業界に就業して国内外で活躍できるようになるための基盤が身につきます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 ポータルのシステムを使って資料の提示、課題の提出や確認を行います。また、ポータルのレポート機能（例えば、課題提出時のコメント欄）やメールを活用してコミュニケーションを図っていきたいと思います。

実務経験の有無及び活用 実務経験なし

備考
